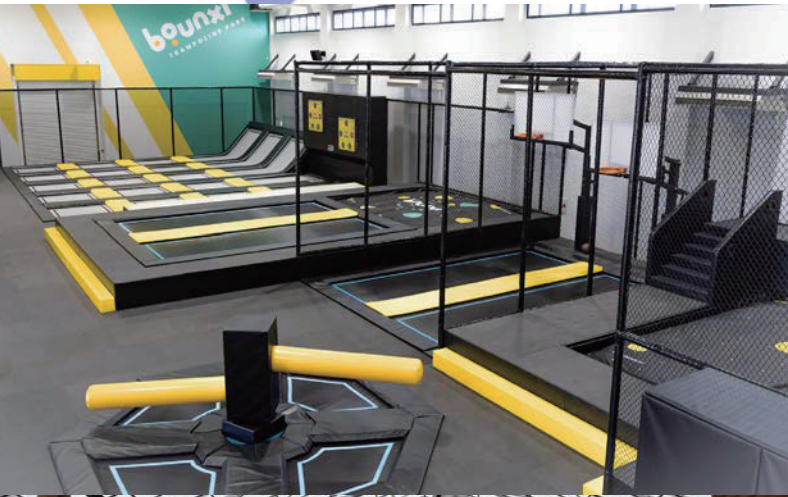
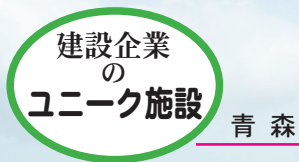


建設企業が運営する

ユニークな にぎわい 施設



地域インフラの整備や、災害時には地域の守り手として活躍する建設関連企業。近年では主力事業と一線を画す“ユニークな”にぎわい施設整備が相次ぎ、地域の盛り上がりにも一役買っている。今回は東北各県から注目すべき施設を1カ所ずつピックアップして紹介する。運営企業を取材すると、地域特性を生かした施設のこだわりや、地元へ貢献したいとする熱い思いが聞けたほか、経営多角化のヒントが見えてきた。



東北最大級のトランポリンパークを 核とした複合商業施設



北辰工業(八戸市)

AILERON WEST VILLAGE

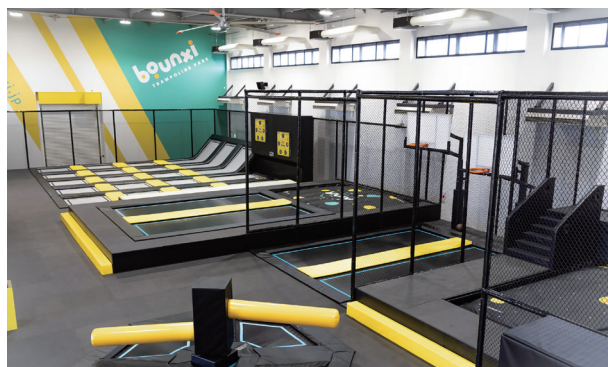
青森県東部に位置し、スケートやアイスホッケーなどのウィンタースポーツが盛んな八戸市。このまちににぎわいを呼ぶ新たなレジャー施設として今年5月、八戸駅西口近くに東北最大級のトランポリンパークを核とした複合商業施設「AILERON WEST VILLAGE (エルロンウエスト ビレッジ)」がオープンした。子どもから大人まで、ワクワク感が広がる人気スポットとなっている。

運営するのは、同市に本社を置き、発電設備のメンテナンス・建設工事などを手掛ける北辰工業(田島理成代表取締役)。「設立のきっかけは、社員の健康維持やストレス解消のための福利厚生施設として計画していたが、市民にも楽しんでもらい、街も良くなればという想いから一般の利用も受け入れている」と田島代表は語る。

施設は、スポーツとエンタメをMIXしたトランポリン棟「BOUNXI TRAMPOLINE PARK」、飲食施設、イベントなどが開催できる憩いの広場「ポケットパーク」で構成。

トランポリン棟は、エリア面積延べ580㎡で、トランポリンが20面並ぶ「フリートランポリン」や前方向に跳べる全長6.5mの「ロングトランポリン」などのアトラクション9種類、全31面を配置。トランポリンパークの院去公紀店長は「トランポリンや体操の競技出身者のスタッフも在中している。天候に左右されることなく、安全・安心な誰でも楽しめる施設となっている」と話す。

また、近隣の小学校の遊び場としてポケットパークを有効活用してもらおうと、バドミントンや大縄跳びなどの遊具を設置し無料で貸し出している。このほか、施設



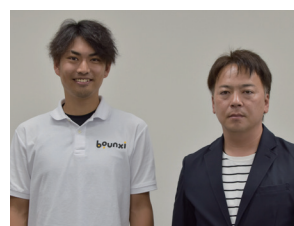
全31面の各種トランポリンが並ぶトランポリン棟の内部

にはデジタルサイネージが2面設置され、企業広告のほか、地域のプロスポーツのPVや地域の催事中継などを行う。

トランポリン部材は海

外から輸入し、設計から組立まで社員らが全て行ったり話す田島代表。輸入部材は施設の採寸と合わず苦労したが、普段の業務で培われた技術を活かし、細部にまでこだわり抜いた日本一安全なトランポリンパークが完成したと振り返る。田島代表は「事業を通して、社員には自分たちの技術力に誇りを持ってほしいと思っている。そして、この挑戦や来場者の喜ぶ顔が仕事のモチベーションなればいい」という。

今後、同事業は営業所がある秋田県や山形県でもトランポリン施設の設立を挑戦したいと意欲を見せる。



店長 田島代表(右)と院去

★施設情報

- ①住所：青森県八戸市尻内町内矢沢12
- ②連絡先：0178-20-7747
- ③アクセス：八戸駅西口から徒歩3分
- ④営業時間：平日＝11～20時、土日祝＝9～19時、定休日＝木曜

建設企業の
ユニーク施設

岩手

本州一の寒さを体験できる

県内屈指の「氷の世界」



岩手マイタック(盛岡市)

安俱里まほら岩手

ワカサギ釣りで有名な岩洞湖があり、盛岡市北東部の標高約700mに位置する薮川地区は、アメダス以前の気象観測所のため非公式ながら1945年1月にマイナス35度を記録した本州で一番寒い地域として知られている。その地域にある「安俱里まほら岩手」は約64haの広大な敷地にキャンプ場、釣り堀、キッズパークのほか、山菜・野菜・原木きのこの収穫体験ができる観光農園施設として人気だ。

もともとは同市で土木事業を中心とする岩手マイタック(橋本正彦代表取締役社長)が、原木きのこを栽培する農業施設だったが、5年前に観光農園施設へ転換。体験型コンテンツに力を入れ、現在はじゃがいもや白いとうもろこしの種まき・収穫などの農業体験のほか、年中無休のキャンプ場は、夏はファミリー層、冬も本州一の寒さを求めて雪上キャンプを楽しむ愛好家が足を運ぶ。

60万球の光でライトアップされ、イルミネーションスポットとしても県内屈指の規模を誇る「氷の世界」は毎



県内屈指のイルミネーションスポット「氷の世界」の氷の洞窟

年1月下旬に開催。建設業、ものづくりに携わってきたスタッフが1カ月間24時間散水して作る全長20mの氷の洞窟や氷の城、氷像に多くの人が訪れる。同社で請け負う工事が少なくなる冬季に何かイベントができないかと始めたところ、圧倒的なスケールと幻想的な空間がSNS映えすると人気に火が付いた。



クレーン操縦体験



久保田所長

近年は台湾や香港など海外からの観光客も増えており、「世界に薮川の魅力を発信できるように、さらにパワーアップさせたい」と岩手マイタックの社員で同施設所長の久保田梓さんは話す。夏は手作りならではの良さが味わえるウォータースライダーが好評な水遊びイベント「ひんやりフェス」を開催。氷の世界に次ぐ第2の柱にすべく本州一の避暑地としてもPRしている。本業である建設業やものづくりの魅力を伝える重機の操縦体験、自然の地形や土木技術を生かした障害物レース「TARZAN TRAIL」も行っている。

久保田所長は「本州一の寒さを強みに変えて、薮川の良さともものづくりの素晴らしさを、この施設を通じてこれからも発信するとともに、若い人を呼び込んで地域活性化につなげたい」と語る。

★施設情報

- ①住所：岩手県盛岡市薮川外山436-1
- ②連絡先：019-681-5470
- ③アクセス：JR盛岡駅から車で約45分
- ④営業時間：10時～16時、休日＝月曜・火曜、キャンプ場は年中無休※イベント期間は除く

建設企業
の
ユニーク施設

秋田

国道沿いの直売所

木工などの体験活動も展開



門脇商店(仙北市)

森の駅

「森の駅」は仙北市田沢湖の国道46号沿いに、門脇木材が2004年に開業。道の駅がない仙北市にあって、民間経営の道の駅のような位置付けで親しまれている。

同社の門脇桂孝前社長が土場などに使おうと2カ所の国有林を買収したところ、地域に貢献できる活用を国から促されたのがきっかけ。「用地などの関係で農家と話すことも多く、直売所の開設を思い立った」と門脇氏。生産者グループをテナントに招き、直営の木材・木工の直販所とともに開業。好調な客足から出店の申し出があり、2年後には食堂もオープンした(昨年11月より新規テナント募集中)。

23年度からは、門脇商店(代表取締役＝庄子奈穂子氏、取締役会長＝門脇桂孝氏)が事業を継承。直売所では地場野菜やハチミツなどを販売しており、10月の取材時はシャインマスカットやキノコ、枝豆などが良く出ている。地元デザイナーの作る小物や工芸品、コストコの再販品なども扱っている。休憩スペースやトイレは毎日開放。ドライバーに喜ばれている。



10月に開いた桐の小箱作り体験。県の補助事業で無料参加できた

木の展示場「巨木の森」では、銘木や板材などを展示。糸のこなどの工具を開放しているほか、より専門的な木工機械も置いてあり、貸し工房を開業するプランもある。「森工房の部屋」では、桐タンスの製作などを行う森工房の作品を展示販売。木工教室やイ



巨木の森。並ぶ(左)板材や工具が
したシェアスペース(下)を
会議室を転用

ベントの開催にも力を入れ、去年は子ども向けのクラフト体験、組子コースター作り、スウェーデントーチ作りや薪割りなどを行った。

「昔はどこの家にも工具があって、子どもが木製品を直したりできた。ここでの体験が木を扱う仕事に就くきっかけになってほしい」と庄子氏。「消費者に近い小売り側でのニーズ開拓は、川上の木材資源の需要増や、木の地産地消にもつながるはず」とビジョンを語る。

23年7月には、700mほどの距離にシェアスペース「森の恵み」を開業した。Wi-Fiやモニターなどを備え、「コワーキングスペースとして使ってほしい」とのこと。所有者不明の土地が山仕事の妨げになっているなどの現状から、「都市部にいる所有者とオンラインで話したり、地方の課題を都市部と共有するセミナーを開くなど、地域の資源を生かす手助けにできれば」と話す。

★施設情報

- ①住所：仙北市田沢湖卒田柴倉378
- ②連絡先：080-9257-7221(庄子)
- ③アクセス：JR田沢湖駅から車で約15分
- ④営業時間：10時～16時、夏期(4～11月)無休、冬期(12～3月)水曜定休。巨木の森・森工房の部屋＝毎月第3金土日、ほか連絡あれば案内

建設企業の
ユニーク施設

山形

四季を堪能できる

いい湯でリラックス



荒正(山形市)

山形うわの温泉「天神乃湯」

山形市内を一望できる絶景の場所、蔵王山の麓に山形うわの温泉「天神乃湯」がある。

運営するのは、山形市に本社を置き、「豊かな環境を整えることが健康(=幸せ)につながる」の理念のもと建設、土木、林業、介護、観光事業などさまざまな事業を展開する荒正(須田和雄代表取締役)だ。

同社は、創業者・荒井正年(あらいしょうねん)氏の出生地である山形市蔵王上野で、製材工場として1947年に創業。地域への恩返しの意味も込め、同地内にW造2階建て、延べ517㎡の日帰り温泉を99年に開業し、地域活性化のためスタッフの雇用なども積極的に行っている。

県内外から年間10~12万人(累計約300万人)が訪れる同温泉は、日本でも珍しい石膏芒硝泉という泉質で、関節リウマチ、腰痛症、疲労回復などに効果がある。温泉に漬かるだけでなく飲むことができるのも特徴で、血糖値が高めの方におすすめだ。

清潔感の漂う内部は、ひのきの香りが心を癒す内風呂と森林浴ができる露天風呂、お土産品などを販売する売

木漏れ日が美しい露天風呂



店、軽食を提供しつろげるラウンジ、多目的に使用できる貸室などで構成されており、入口近くに設けられた直売コーナーには、地元農家とタイアップして毎日さまざまな農産物が並ぶ。

施設整備の際には「自然環境との調和を心掛け、自然を感じられる風景をできるだけ保存した」と須田代表は語る。施設を囲む広葉樹林には樹齢100年を超えるものもあり、露天風呂からは四季によってさまざまな景色を楽しむことができる。

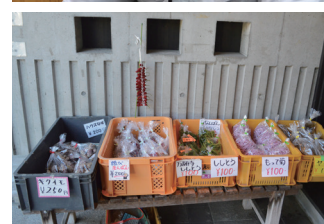
そして湯上りといえばコーヒー牛乳だが、自家製の温泉卵や同社の果樹園で作られたりんご生ジュースなどで一息つくのも至福である。

また、売店で販売中の「なっとうくん」、ラウンジで提供している「手造り玉こんに」もイチオシだ。これらは市内の障がい者支援施設で製造されたもので「質の良い商品を手にとってもらう機会を増やしたい」という須田代表の思いから取り扱っている。

近日中にWi-Fiも導入予定で、さらに居心地の良い環境整備が進む。体の芯からほっこり温まるいい湯にぜひ足を運んでみては。



須田代表取締役



朝採りの野菜などが並ぶ直売コーナー

★施設情報

- ①住所：山形市蔵王上野313の1
- ②連絡先：023-688-5837
- ③アクセス：JR山形駅から車で約25分
- ④営業時間：10時~22時30分
- ⑤入浴料：大人450円、子ども200円(小学生まで、幼児無料)



橋本建機(名取市)

ガモウパーク

仙台市東部沿岸部にある防災集団移転跡地内で2020年にオープンしたガモウパークが、愛犬家たち集ういこいの場となっている。1haの広大な土地に、メインとなる3000㎡の広い天然芝ドッグランは大型・中型・小型犬エリアや貸し切りエリアに分け、どんな犬種でも元気に遊ぶことができる。このほか天気が悪いときも気にせず遊べる600㎡の大型テントドッグラン、ドッグプールも備える。エントランスやトリミングサロン、レストラン、レンタルルームが入るS造2階建て、延べ400㎡の屋内施設も整備した。多い日には200頭が走り回る人気施設となっている。

運営するのは、宮城県名取市に本社を置く橋本建機だ。橋本裕会長は「動物に関わる施設を整備・運営するのが長年の夢だった」と語る。自身でも幼いころから動物と触れ合い、過去に猫を3匹、現在も柴犬と豆柴を1頭ずつ飼育している大の動物好き。19年に仙台市が募集した宮城野区蒲生地区の利活用を行う民間事業者として選定され、市から借地して運営を開始し、5年目を迎えた。

ドッグラン施設としては市街地中心部から近い場所に位置すること、人工芝・天然芝敷きの場内は室内飼いの飼い主からの評価が高いことから、全国から視察が訪れるという。施設の立ち上げから業務に携わる橋本陽子マネージャーは「オープン当時は都市型ドッグラン施設が少なかったこともあり、口コミで評判が広がっていった。コロナ禍だったこともあり、外遊びの場所としても需要



多い日には200頭が走り回る

が高かったのではないかと振り返る。

被災地内に立地していることから、地域のお祭りにも積極的に参加。ゆくゆくは本業の建機レンタルで働いてきた社員が第2の職場として勤めることができるような取り組みもしたい考え。

今後は屋内施設内で犬の一時預かりサービス提供を検討しているほか、さまざまな団体が取り組む保護犬の譲渡会の会場として施設を開放する取り組みを検討している。すべての犬の幸せのため、ガモウパークの運営は続く。



橋本会長

★施設情報

- ①住所：仙台市宮城野区岡田新浜浦通東19-6
- ②連絡先：022-290-7855
- ③アクセス：仙台東部道路仙台東ICから車で10分
- ④営業時間：10時～19時、水曜定休（祝日の場合は翌平日）



建設企業の
ユニーク施設

会津藩校の伝統受け継ぐ 精神修養と教育の場

ハッ橋設備(会津若松市)

ウェルネス会津ボクシングセンター

鶴ヶ城や七日町といった歴史ロマンあふれる会津若松市。白虎隊ゆかりの飯盛山に向かう千石通りをロードワークする小中学生たちは「ウェルネス会津ボクシングセンター」の会員、通称ウェルネスキッズだ。

市内初の本格的なボクシングジムとして2008年に誕生したこのセンターは、名門・会津工業高校ボクシング部の前身、会津第二高校ボクシング部出身で会津ボクシング協会名誉会長を務める、ハッ橋設備の笠原昭相談役が社長だった当時、長年の夢として、地域の後押しなどにより設立した。

会津藩校「日新館」の伝統と精神を今に蘇らせたいという想いを掲げ、運営と指導は、会工高ボクシング部出身の神山勝志社長（ハッ橋設備執行役員）と、全日本社会人選手権大会3度の優勝経験を持つ遠藤広大コーチが担う。神山社長は「大人は『精神修養の場』、子供は『教育の場』として、心身の鍛錬に取り組んでいただいている」と話し、遠藤コーチは「礼儀作法とあいさつに重点



各種トレーニングマシンも備えている

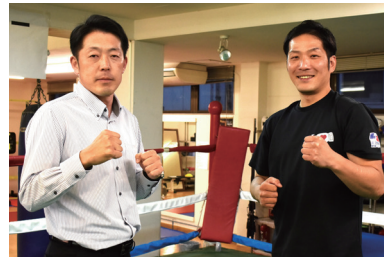
を置いた指導に努めている」とキッズの育成方針を語った。

センターの1階中央には歴戦の会員た

ちが鍛錬したリングが鎮座し、昨年9月には設立15周年記念のスパarring大会が盛大に行われたほか、同年秋に公開された会津が舞台の映画「日めくりの味」のロケ地にもなった。

キッズたちがサンドバッグやミット打ちに取り組む中、一際強い一撃を遠藤コーチのミットに放つのは一昨年、全国UJボクシング王座決定戦の中学生男子33kg級で優勝した郡司皇牙さんと昨年の全国UJフレッシュボクシング大会の中学生男子36kg級を制した遠藤永羽さんだ。ミット打ち後に行われた2人のスパarringは、軽やかなステップ、重く響くパンチ、一つひとつの動作に熱い想いがこもる。郡司さんは「笑顔と元気が一杯のジムにしたい」と破顔し、遠藤さんは「もう一度、日本一を取りたい」と闘志を滲ませる。

想いを拳に乗せるキッズたちに、遠藤コーチは「ボクシングを通じて社会の厳しさに負けない1人前の大人になってほしい」と期待し、神山社長は「一生懸命地域に根差しながらいつかはオリンピック選手を輩出したい」と抱負を述べた。



会工高出身の神山社長(左)、同じく遠藤コーチ

★施設情報

- ①住所：福島県会津若松市東千石2の1の12（ウェルネス会津東千石ビル）
- ②連絡先：0242-93-8248、HP：<http://wellness-aizu.com/>
- ③アクセス：千石通り（会津若松裏磐梯線）沿い、南会津町方面
- ④営業時間：月曜～金曜＝15時～21時、土曜＝13時～20時、休日＝日曜・祝日、夏季休暇、年末年始など